

# 1. 心因性異常分娩ハイリスク群 検出尺度の作成に関する研究

室 岡 一(日本医科大学産婦人科)  
水 上 啓 子(           "           )  
若 麻 績 佳 樹(           "           )  
越 野 立 夫(           "           )

## 研究目的

明らかな器質的原因が見当たらないのに分娩経過に異常をきたす産婦が臨床経験の中では数多く見られるものである。岡村らは不安が分娩経過に影響することをすでに報告しているが、妊婦が分娩に臨む姿勢に関係する因子として、無視し得ないものに、妊娠(挙児)に対しての積極性(望んだ妊娠かどうか、妊娠を知った時うれしかったか否か)が考えられる。不安が高くても妊娠(挙児)に対して積極的であれば分娩に対しても積極的に向うことが予想される。また不安傾向にある妊婦が妊娠(挙児)に否定的である時には分娩を乗り切ろうとする姿勢も弱まることが考えられる。すなわち神経症的不安傾向と妊娠に対する非積極性が重複した時に、分娩経過に心因性の異常がおこる頻度が高くなることが予測される。本研究は、分娩経過に関係する妊婦の精神的な次元として、「神経症的傾向」と「妊娠に対する積極性」の二次元をとり上げて、それらと分娩経過の異常の関係を検討し、それに基づいて心因性異常分娩ハイリスク群を妊娠中に検出できる簡便な尺度を作成することを目的とした。なお本研究は以下の三つのステップを踏んで行う予定である。

## 研究方法及び対象

まず第一ステップとして「心因性異常分娩」の概念の妥当性の検討を行う。妊婦の「神経症的傾向」及び「妊娠に対する積極性」を調べ、それらと分娩経過の異常の発生との関係を検討する。なお、本研究では、心因が介在し得る可能性のある異常分娩として、原発性微弱陣痛、続発性微弱陣痛、頸管開大遅延、下降遅延、潜伏期遅延などをとり上げ検討の対象とした。

対象妊婦は35才未満の初産婦で、妊娠初期よ

り日本医科大学第一病院及び葛飾赤十字産院を受診し、その後分娩に至った者とした。

但し、児頭骨盤不適合、骨盤位、筋腫合併妊娠、子宮奇形など明らかな器質的異常は対象外とした。

## 方 法

### 1) 神経症傾向の評価

神経症傾向の評価はCornell Medical Index(C.M.I.健康調査表日本版、表1)を用いて行う。C.M.I.健康調査表による神経症傾向の評価は、身体的自覚症(不適応、抑うつ、不安、過敏、怒り、緊張)計51項目の得点を二次元座標上にプロットし、どこに位置するかにより、神経症的傾向をIからIVまでの4段階に分けるものである。Iを正常、IIを正常傾向、IIIを神経症傾向、IVを神経症とみなす。

### 2) 妊娠に対する積極性についての評価

独自にあらたに作成した質問紙の中の特定の3項目への回答で判別する。表2の中で①のイ)、②のイ)、③のホ)と回答したものを妊娠に対して積極群とみなし、その他のものを非積極群と判別した。

3) 前述の1)と2)の調査を妊娠8ヶ月時に行ない、その結果と分娩経過の異常所見との関係を検討した。

第二ステップとして、C.M.I.調査時に施行した妊婦心理テスト(独自に作成したものでその詳細は割愛)の結果と第一ステップでの結果を検討し、ハイリスク群が敏感に反応を示す項目を選出する。これらの項目の分析を行い、心因性異常分娩ハイリスク群の検出尺度を作成してみる。

次に第三ステップとして、第二ステップで作成した尺度を無関係の妊婦に施行し、尺度の得点が心因性異常分娩を予測できるものであるか否かの

検討を行う。

### 研究成績と考案

現在第一ステップを実施中である。妊娠8ヶ月時に日本医大第一病院及び葛飾赤十字産院において、C.M.I.健康調査表、妊娠に対する積極性に関する質問項目に完全回答し、同病院で分娩した者は43名であった。この43名について神経症的傾向及び妊娠に対する積極性と、分娩経過の異常との関係をみると図1のような結果が得られた。これをまとめてみると以下ようになる。

1) 対象者の神経症的傾向をC.M.I.の評価でIからIVまでに判別すると、I群が23名、II群が10名、III群が10名、IV群が0名であった。

各群における分娩経過の異常の発生を調べてみると、I群では23名中6名、II群では10名中4名、III群では10名中9名にみられた。

その発生率は各々26%、40%、90%であった。これを推学的に検討してみると、I群とII群には有意差はなく、II群とIII群でも有意差はなかった( $\chi^2=2.938$   $P<0.10$ )。I群とIII群では有意差がみられた( $\chi^2=6.129$   $P<0.025$ )。

2) 妊娠に対する積極性、非積極性を質問項目より判定し、積極群と非積極群に分けると、前者が25名、後者が18名であった。各々における分娩経過の異常の発生は積極群では25名中8名、非積極群では18名中11名であり、その発生率は32%と61%であった。各群における発生率を $\chi^2$

検定すると、 $\chi^2=3.627$ 、 $P<0.10$ でややその傾向がみられるにとどまった。

3) 1)と2)では神経症的傾向及び妊娠に対する積極性の両次元を独立してとらえて、各々と分娩経過の異常との関係を検討してみたが、次に両方の関係と分娩経過の異常との関係を調べることにより、対象者をlow risk群とhigh risk群に再分類してみると次のような結果が得られた。low risk群とは神経症的傾向が極めて低い群(C.M.I.のI群全部)に神経症的傾向はやや低い傾向であって、妊娠に積極的な群(II群の中の積極群)を加えたものを指す(図1の斜線のない部分が該当する)。high risk群とは神経症的傾向がかなり強い群(III群の全部)と神経症的傾向は中等度であって、妊娠に非積極的な群(II群の中の非積極群)を加えたものとした(図1の斜線部分が該当する)。

low risk群とhigh risk群には各々29名、14名が該当したが、各々の群における分娩経過の異常の発生はlow risk群では29名中7名、high risk群では14名中12名であった。その発生率は各々24%、84%であった。これを $\chi^2$ 検定すると、 $\chi^2=14.52$ 、 $P<0.005$ で有意差がみられた。

4) 現在のところまだ例数が少ないので、断定的なことは言えないが、以上のことより、神経症的傾向が強くて、妊娠に対して非積極的な群では分娩経過に異常が生じやすい傾向が推測される。

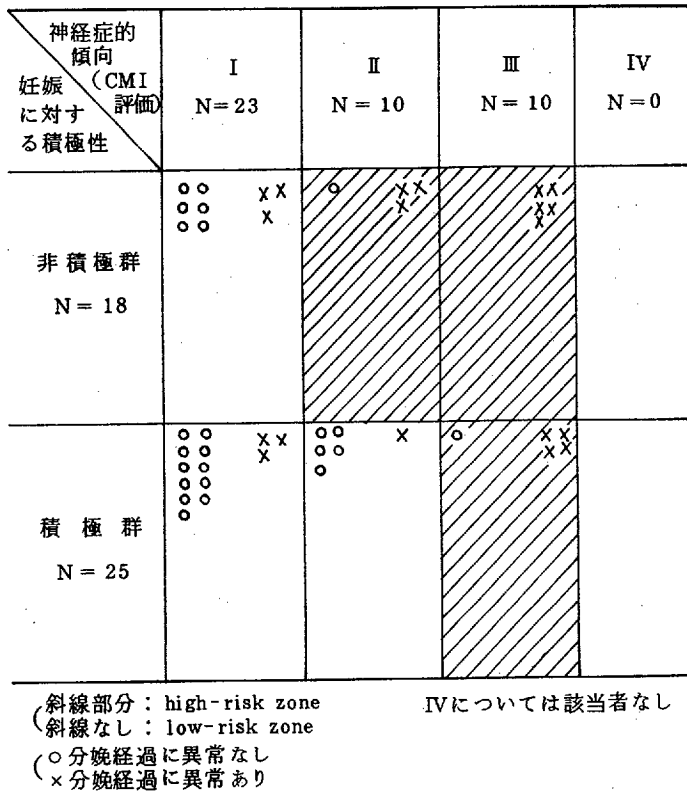


図 1. 「神経症的傾向」及び「妊娠に対する積極性」と分娩経過の異常

表1. 「Cornell Medical Indexの神経症的傾向判定項目」

・ 身体的自覚症 (C.I.J)

C 心臓脈管系

- 28 医者から血圧が高いといわれたことが  
ありますか …………… はい, いいえ
- 29 医者から血圧が低すぎるといわれ  
たことがありますか …………… はい, いいえ
- 30 胸や心臓のところに痛みがありま  
すか …………… はい, いいえ
- 31 動悸がして苦しくなることがよく  
ありますか …………… はい, いいえ
- 32 心臓が狂ったように早く打つこと  
がよくありますか …………… はい, いいえ
- 32' ときどき脈が狂うことがありますか  
…………… はい, いいえ
- 33 息苦しくなることがよくありますか  
…………… はい, いいえ
- 34 人より息切れしやすいですか  
…………… はい, いいえ
- 35 坐っていても息切れすることがと  
きどきありますか …………… はい, いいえ
- 36 足がひどくはれることがよくあり  
ますか …………… はい, いいえ
- 37 夏でも手足が冷えますか  
…………… はい, いいえ
- 38 脚がひきつることがよくありますか  
…………… はい, いいえ
- 39 医者から心臓がわるいといわれた  
ことがありますか …………… はい, いいえ
- 40 家族に心臓のわるい人がいますか  
…………… はい, いいえ

I 疲労度

- 108 疲れはててぐったりなることがよ  
くありますか …………… はい, いいえ
  - 109 仕事をするとき疲れきってしま  
いますか …………… はい, いいえ
  - 110 朝起きるときからいつも疲れき  
つていますか …………… はい, いいえ
  - 111 ちょっと仕事をしただけでも疲れ  
ますか …………… はい, いいえ
  - 112 食事もうけないくらいにいつも疲  
れきつていますか …………… はい, いいえ
  - 113 ひどい神経衰弱にかかっています  
か …………… はい, いいえ
  - 114 家族に神経衰弱にかかった人がい  
ますか …………… はい, いいえ
- J 疾病頻度
- 115 よく病気をしますか …………… はい, いいえ
  - 116 よく病気で寝こみますか …………… はい, いいえ
  - 117 いつもからだのぐあいがあるいで  
すか …………… はい, いいえ
  - 118 周囲の人はあなたを病弱だと考え  
ていますか …………… はい, いいえ
  - 119 あなたの家族にはからだの弱い人  
が多いですか …………… はい, いいえ
  - 120 ひどい痛みがあって仕事ができま  
せんか …………… はい, いいえ
  - 121 自分の健康のことが気になって仕  
方がないですか …………… はい, いいえ
  - 122 いつも病気がちで不幸ですか  
…………… はい, いいえ
  - 123 からだが弱いのでいつも情けない  
思いをしていますか …………… はい, いいえ

・ 精神的自覚症 (M, N, O, P, Q, R)

M 不 適 応 項 目

- 145 試験のときや質問されるときに、汗をかいたり、ふるえたりします  
..... はい、いいえ
- 146 目上の人があると、とても緊張してふるえそうになりますか ... はい、いいえ
- 147 目上の人が見ていると、仕事がさっぱりできなくなりますか ..... はい、いいえ
- 148 物事を急いでしなければならぬときには、頭が混乱しますか ..... はい、いいえ
- 149 少しでも急ぐと誤まりをしやすいですか ..... はい、いいえ
- 150 いつも指示や命令を取りちがえますか ..... はい、いいえ
- 151 見知らぬ人や場所がとても気になりますか ..... はい、いいえ
- 152 そばに知った人がいないと、おどおどしますか ..... はい、いいえ
- 153 いつも決心がつきかねますか  
..... はい、いいえ
- 154 いつもそばに相談相手がほしいですか ..... はい、いいえ
- 155 人から気がきかれないと思われていますか ..... はい、いいえ
- 156 よそで食事をするのが苦になりますか ..... はい、いいえ

N 抑 う つ 項 目

- 157 会合に出ても、ひとりぼっちな感じで悲しいですか ..... はい、いいえ
- 158 いつも不幸で憂うつですか  
..... はい、いいえ
- 159 よく泣きますか ..... はい、いいえ
- 160 いつもみじめで気持ちが浮かないですか ..... はい、いいえ
- 161 人生はまったく希望がないように思われますか ..... はい、いいえ
- 162 いっそ死んでしまいたいと思うことがよくありますか ..... はい、いいえ

O 不 安 項 目

- 163 いつもくよくよしていますか  
..... はい、いいえ

- 164 家族にくよくよする人がいますか  
..... はい、いいえ
- 165 ちょっとしたことでも気になって仕方がないですか ..... はい、いいえ
- 166 人から神経質だと思われていますか ..... はい、いいえ
- 167 家族に神経質な人がいますか  
..... はい、いいえ
- 168 ひどいノイローゼ(神経症)にかかったことがありますか ..... はい、いいえ
- 169 家族にひどいノイローゼになった人がいますか ..... はい、いいえ
- 170 精神病院に入院したことがありますか ..... はい、いいえ
- 171 家族の誰かが精神病院に入院したことがありますか ..... はい、いいえ

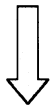
P 過 敏 項 目

- 172 あなたはひどくほにかみやか、神経過敏な人たちですか ..... はい、いいえ
- 173 家族にひどいほにかみやか、神経過敏な人がいますか ..... はい、いいえ
- 174 感情を害しやすいですか  
..... はい、いいえ
- 175 人から批判されるといつも心を乱されますか ..... はい、いいえ
- 176 人から気むずかし屋と思われていますか ..... はい、いいえ
- 177 人からよく誤解されますか  
..... はい、いいえ

Q 怒 り 項 目

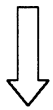
- 178 友達にも気を許さないですか  
..... はい、いいえ
- 179 何かしようと思ったらいともたってもおれなくなりますか ..... はい、いいえ
- 180 すぐかあとなったたり、いらいらしたりしますか ..... はい、いいえ
- 181 いつも緊張していないとすぐ取り乱れますか ..... はい、いいえ
- 182 ちょっとしたことが勸にさわって腹がたちますか ..... はい、いいえ





## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



### 研究目的

明らかな器質的原因が見当たらないのに分娩経過に異常をきたす産婦が臨床経験の中では数多く見られるものである。岡村らは不安が分娩経過に影響することをすでに報告しているが、妊婦が分娩に臨む姿勢に関係する因子として、無視し得ないものに、妊娠(拳児)に対しての積極性(望んだ妊娠かどうか、妊娠を知った時うれしかったか否か)が考えられる。不安が高くても妊娠(拳児)に対して積極的であれば分娩に対しても積極的に向うことが予想される。また不安傾向にある妊婦が妊娠(拳児)に否定的である時には分娩を乗り切ろうとする姿勢も弱まることが考えられる。すなわち神経症的不安傾向と妊娠に対する非積極性が重複した時に、分娩経過に心因性の異常がおこる頻度が高くなることが予測される。本研究は、分娩経過に関係する妊婦の精神的な次元として、「神経症的傾向」と「妊娠に対する積極性」の二次元をとり上げて、それらと分娩経過の異常の関係を検討し、それに基づいて心因性異常分娩ハイリスク群を妊娠中に検出できる簡便な尺度を作成することを目的とした。なお本研究は以下の三つのステップを踏んで行う予定である。